

Japan International Education Society



日本国際教育学会

第 28 回研究大会  
プログラム

2017年9月2日(土)・3日(日)

会場：福岡女学院大学

日本国際教育学会 第28回大会  
プログラム

I 開催要領

1) 開催日程：2017年9月2日（土）・3日（日）

2) 大会会場：福岡女学院大学 エリザバス・リー ホール、大学1号館  
〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐3丁目42-1

3) 大会スケジュール

9月2日（土）

9:00～	受付
9:30～11:00	自由研究発表1（1号館123教室・124教室）
11:00～12:00	昼休み・理事会（第5会議室）
12:00～14:10	公開シンポジウム「多文化共生の学びと育ち」 （エリザバス・リー ホール）
14:20～16:50	課題研究Ⅰ「日豪比較を通じた先住民族の指導者・教員養成 の展開と課題」（エリザバス・リー ホール）
17:00～17:45	総会（エリザバス・リー ホール）
18:30～20:30	懇親会

9月3日（日）

9:30～	受付
10:00～12:30	課題研究Ⅱ「複言語・多言語環境における教育支援の課題」 （エリザバス・リー ホール）
12:30～13:30	昼休み
13:30～15:00	自由研究発表2（1号館123教室・124教室・125教室）

4) 参加費・懇親会費

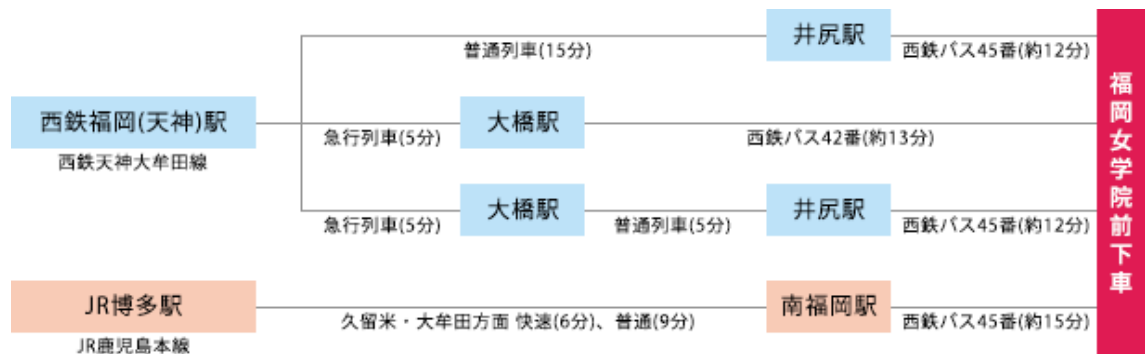
大会参加費 3,000円 \*非会員の方も臨時会員としてご参加いただけます。  
懇親会費用 5,000円 \*参加費用、懇親会費用は受付時にお支払いください。

\*夏期休業中のため学内売店などすべて閉鎖しております。お手数ですが各  
日ご自身でご持参ご準備いただきますようお願いいたします。

## 5) 自由研究発表における留意事項

- 発表者は、当該分科会開始 10 分前までに分科会会場にお入りください。
- 発表時間は 20 分、当該発表に関する質疑応答は 10 分、合計 30 分です。発表時間の超過は認められません。時間配分にご注意ください。
- 発表時刻および発表順の変更は原則として行いません。やむを得ない事由により発表辞退が発生した場合も同様です。その際は司会者判断により休憩または討論の時間とします。
- 配布資料は各自 30 部以上の部数をご用意の上、発表当日に会場まで直接ご持参ください。資料の形式は原則自由とします。大会期間中、配布資料等を会場内で印刷・作成することはできません。資料その他を事務局でお預かりすることもできませんので、ご了承ください。
- 発表の際、資料提示の補助的な手段として PC をご使用の場合は各会場に設置されたものをご使用ください。ただしシステムトラブル、ソフトウェアの互換性の問題など、不測の事態が生じた際の責任は負いかねます。PC が使用不可の場合にも発表に支障のない配布資料のご準備をお願いいたします。

## 6) アクセス：



### 【福岡女学院大学】

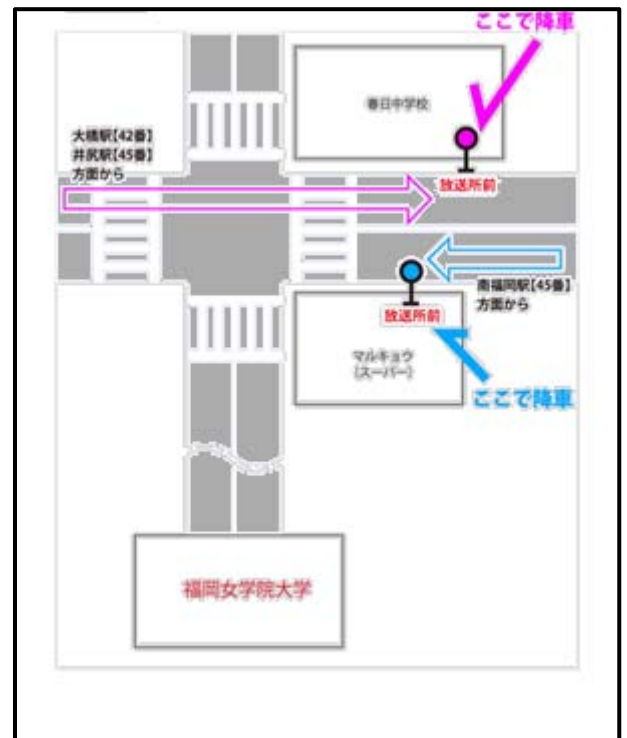
#### 福岡空港から JR 博多駅経由

福岡空港から JR 博多駅まで福岡市営地下鉄を利用（約 5 分）→JR 在来線(久留米・熊本方面)に乗り換え JR 南福岡駅で下車(快速約 6 分、普通約 9 分)→西鉄バス 45 番を利用し、「福岡女学院前」下車(約 12 分)。

#### 福岡空港から西鉄福岡(天神)駅経由

福岡空港から西鉄福岡(天神)駅まで福岡市営地下鉄を利用（約 10 分）。→西鉄大牟田線(久留米・大牟田方面)に乗り換え西鉄井尻駅で下車(普通約 15 分)→西鉄バス 45 番を利用し、「福岡女学院前」下車(約 15 分)。

\*日曜・祝日は福岡女学院前への西鉄バスの乗り入れはありません。「放送所前」から徒歩となります。



## 7) 大会事務局

日本国際教育学会第28回大会実行委員会事務局

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐3丁目42-1

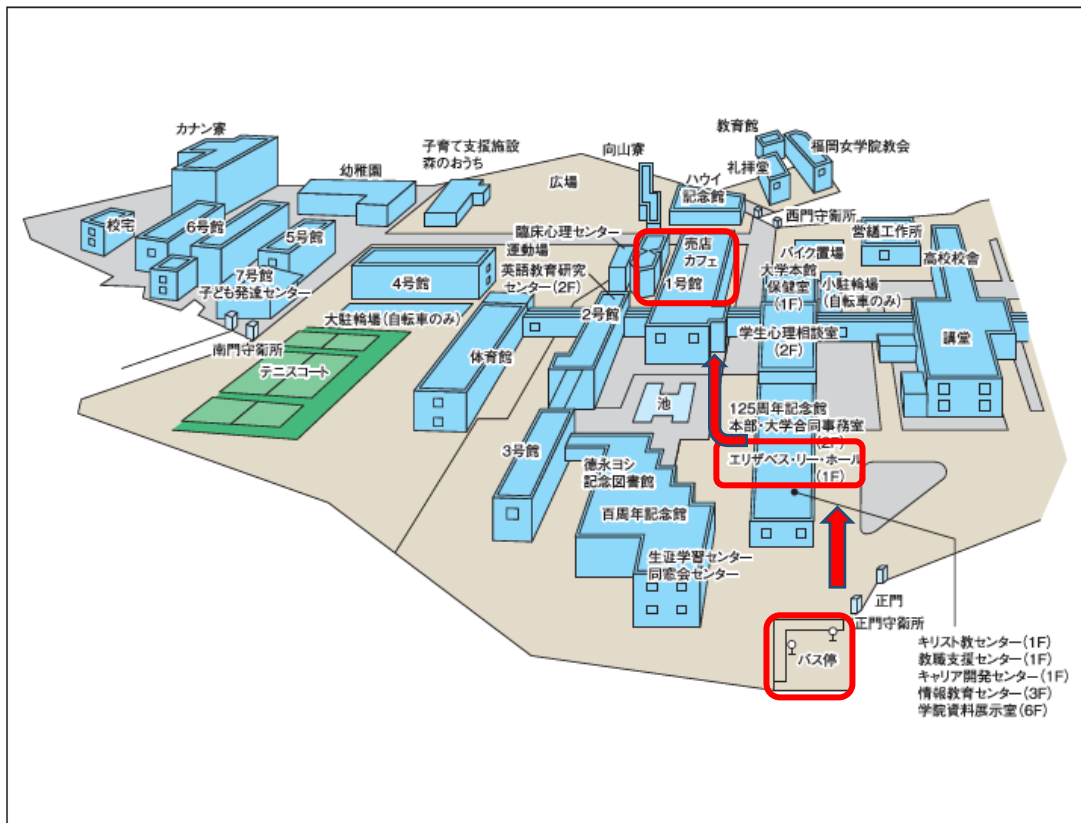
福岡女学院大学 吉田尚史研究室

E-Mail: jiesconf2017@fukujo.ac.jp

TEL : 092-575-2971 (大学代表)

## 8) 会場案内図

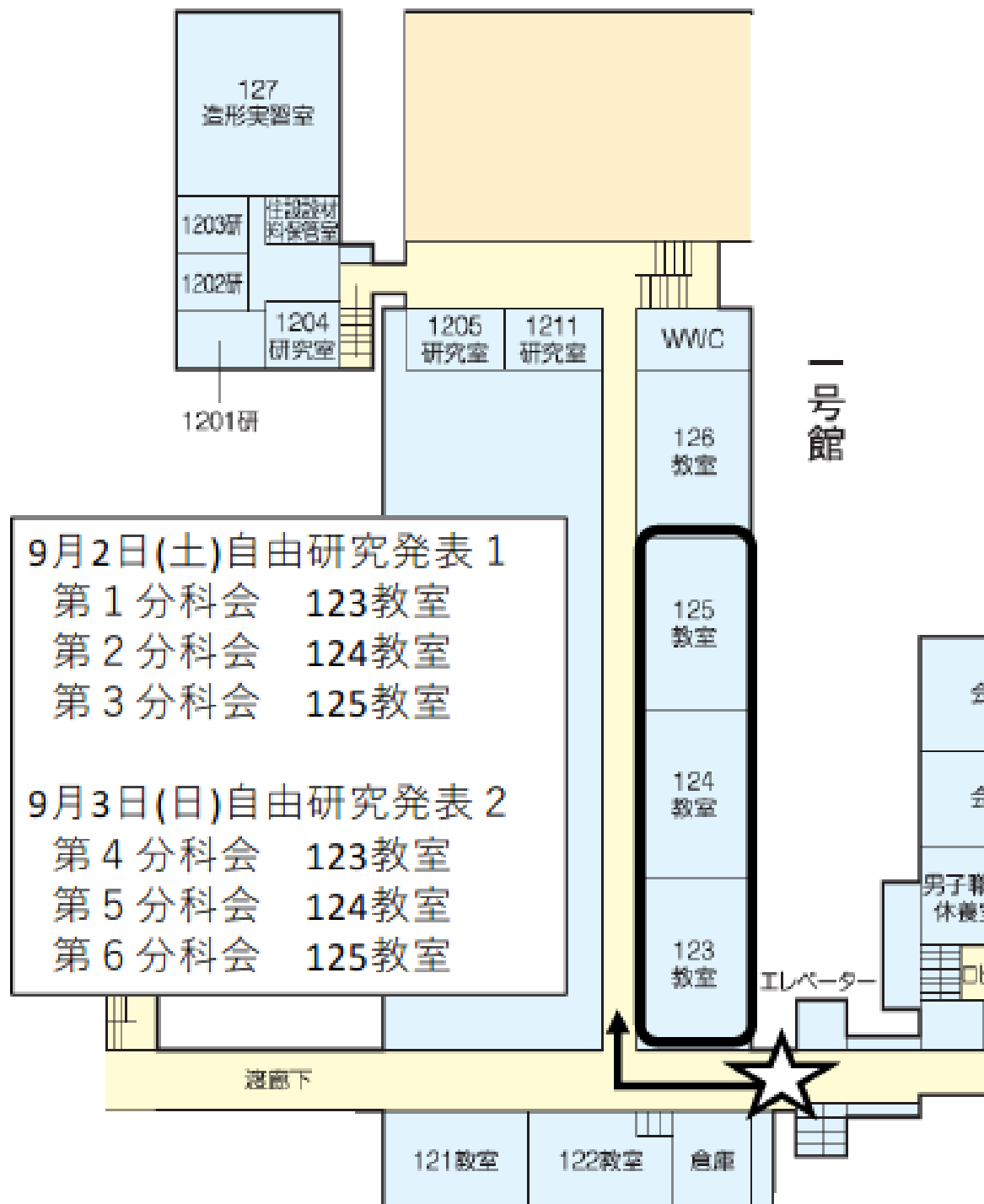
【キャンパスマップ】



- \*受付・総会・公開シンポジウム・課題研究Ⅰ・Ⅱ：エリザベス・リーホール
- \*自由研究発表 分科会会場：1号館 2F 123 教室・124 教室・125 教室
- \*理事会：125周年記念館 4F 第8会議室
- \*休憩所：1号館 1F カフェラウンジをご利用ください(夏季休業中のためカフェ・売店は営業していません)。
- \*喫煙所：敷地内は全面禁煙となっております。ご協力の程よろしくお願いたします。
- \*懇親会会場はJR博多駅もしくは西鉄福岡天神駅周辺を予定しております。



# 会場案内図 ( 2 F )



Ⅱ 自由研究発表1 (9月2日(土) 9:30~11:00)

第1分科会(1号館 123教室)

司会：金塚 基(東京未来大学)

9:30~10:00 沖縄から見る<同化>の意味  
井谷 泰彦(国土館大学非常勤)

10:00~10:30 外国人「看護師」と「介護福祉士」への開放からみる日本の移民政策の改革  
林 思敏(中山医学大学)  
楊 武勲(台湾・国立暨南国際大学)

10:30~11:00 大学における保健師教育と新卒時に必要とされる看護実践能力についての研究 ~地域包括ケアシステムにおける保健師の役割に注目~  
津村 育子(東京外国語大学大学院)

---

第2分科会(1号館 124教室)

司会：渡辺 幸倫(相模女子大学)

9:30~10:00 フィンランドにおける社会的排除のリスクをもつ子どもに対する教育的支援  
西村 貴之(北翔大学)

10:00~10:30 イタリアポローニャの地域におけるインターカルチュラル教育 — 公共図書館「カーザ・ディ・カオウラ」の事例—  
高橋 春菜(盛岡大学)

10:30~11:00 ジョンソン政権におけるラテンアメリカの教育と開発に関する政策 — 「進歩のための同盟」におけるUSAIDを中心に  
江原 裕美(帝京大学)

第3分科会（1号館 125教室）

司会：張 鵬（早稲田大学）

9：30～10：00 デンマークの教育におけるケアの視点－エフタースコーレ  
に注目して－

児玉 珠美（名古屋女子大学短期大学部）

10：00～10：30 韓国の大学入試における格差是正措置

姜 姫銀（広島大学大学院）

10：30～11：00 高等教育における「国際教養」教育の日本的展開と志向性  
嶋内 佐絵（早稲田大学アジア太平洋研究センター）

---



Ⅲ 公開シンポジウム（9月2日（土） 12:00～14:10）

エリザベス・リー ホール

### 「多文化共生の学びと育ち」

基調報告：ゼーン・マ・レーア（Zane Ma Rhea）

（オーストラリア・モナッシュ大学教育学部准教授

／オセアニア比較国際教育学会理事）

シンポジスト

・ゼーン・マ・レーア（Zane Ma Rhea）（モナッシュ大学）

・徳成 晃隆（福岡市教育委員会元理事）

・池田 尚登（福岡市日本語サポートセンター コーディネータ）

司会：吉田 尚史（福岡女学院大学）

今年度の大会開催地、福岡は歴史的にみれば異文化流入の玄関口として、現代では多文化接触を現実とする地である。現代社会における多文化の様相は、国家という枠組みの中で、あるいは国家と国家という枠組み同士の接触において顕著な姿をあらわしており、生活の中で触れ合い混交する文化は、そこで学び育つ人々のあり方をより豊かに、より複雑にしながら密接に寄り添うものといえる。国際理解教育、必修化・教科化される小学校英語教育、第2言語としての日本語教育の実践など、様々な活動が展開される中で、人が文化の多様さを持つ空間の中において学び育つ現実と、「国家」と「国際」が持つ意味があらためて問い直されている。このシンポジウムでは各シンポジストそれぞれの立場からの提言と参加者との議論を通して、これからの多文化共生と教育のあり方について考えることを主旨としたい。

「日豪比較を通じた先住民族の指導者・教員養成の展開と課題」

2007年に先住民族の権利に関する国際連合宣言が採択され、国際的に先住民族の権利保障が求められている。世界各国・地域で権利保障への様々な取り組みが行われており、日本においてはアイヌ民族に関する新たな政策が現在検討されている。

本課題研究では、先住民族の教育権に着目し、指導者や教員の養成という視点から教育課題を考えることにしたい。先住民族の教育権の保障が進展しているオーストラリアから先住民族研究者、実践者を迎え、高等教育における先住民族プログラム、教員養成、指導者養成などの観点から先住民族教育を論じてもらうことにする。日本の場合、アイヌ民族等の教育は小中等教育での授業内容・展開の課題が論じられることが多い。高等教育でのあり方や先住民族の権利としての教育の視点は脆弱である。先住民族の指導者・教員養成等を検討することは主体的な教育の権利を回復するためにも喫緊の課題である。こうしたことからオーストラリアの事例との比較研究は示唆に富むものとなるであろう。

報告者：

- ・ジーン・フリーア（Jeane Freer）（モナッシュ大学）  
教員養成においてアボリジニ教育の授業を行う立場から
- ・ピーター・アンダーソン（Peter Anderson）（ニューサウスウェールズ大学）  
大学の先住民族諮問委員会副議長の立場から
- ・上野 昌之（日本大学非常勤）  
日本におけるアイヌ伝承者・指導者養成の現状と課題

司会：大庭 由子（安田女子大学）

総 会

**2017年9月2日（土）**

**17：00～17：45**

**エリザベス・リー ホール**

会員各位にはご参加いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

※欠席の場合は「委任状」の提出をお願いいたします。

---

懇 親 会

**2017年9月2日（土）**

**18：30～20：30**

懇親会会場はJR博多駅もしくは西鉄福岡天神駅周辺を予定しております。

懇親会は事前申込制ですが、余裕があれば直前でも受付可能な場合があります。

予約のない参加希望者は、当日、実行委員までご相談ください。

### 「複言語・多言語環境における教育支援の課題」

グローバル環境下での言語教育のあり方や、多言語社会における言語のあり方に関して、さまざまな議論が行われるようになってきている。日本の学校教育においては、これまで国際理解や異文化理解の重要性に基づいた外国語教育が志向されてきたとともに、コンピテンスの個別的で多様な育成が求められてきた。一方、新学習指導要が告示され小学校の外国語教育が教科化されるなど、ダイバーシティと対立しかねない単一方向的な英語教育の実施やそれに伴う子どもの家庭環境の格差といった排他的な問題の発生が危惧されてきている。

本課題研究では、複言語・多言語環境下における子どもの学習形成というマクロな枠組みとして本問題を捉えた上で、子どもの外国語教育の支柱となる諸要因について考えていく。具体的には、多文化共生社会における外国語学習のあり方、英語運用能力の育成をめざす英語イマージョン教育の実践、そして、英語授業担当教員の資質形成に関してそれぞれの3名の専門家の報告ならびに議論を通して日本の実態を相対化しつつその可能性、今後の展望と課題について明らかにすることを目的としたい。

報告者：

- ・西山 溪（キャンベラ大学博士候補生）  
対話を軸とした子どもの外国語教育ーオーストラリア・キャンベラの学校内外の実践から
- ・山口 紀生（LCA 国際学園）  
英語イマージョン教育の実践から
- ・金山 光一（都留文科大学）  
オールイングリッシュ小学校における授業研究について

司会：金塚 基（東京未来大学）

Ⅶ 自由研究発表2 (9月3日 (日) 13:30~15:00)

第4分科会(1号館 123教室)

司会：玉井 昇(帝京大学)

13:30~14:00 幼児教育の普及におけるコミュニティ・プレスクールの役割  
—カンボジア農村部の10年間の推移から  
三輪 千明(広島大学)

14:00~14:30 タイにおける小規模学校の意義と課題 —教員・児童の意識分析—  
植田 啓嗣(西九州大学)

14:30~15:00 バヌアツ共和国の初等教育の整理と方向性の考察  
川崎 典子(宮崎大学)

---

第5分科会(1号館 124教室)

司会：山崎 直也(帝京大学)

13:30~14:00 中国の中等教育における教員の力量形成  
小野寺 香(奈良女子大学)

14:00~14:30 日本における研究倫理の推進と台湾への示唆  
楊 武勲(台湾・国立暨南国際大学)  
林 思敏(中山医学大学)

14:30~15:00 台湾・台北市における専門職を中心とした不登校支援策  
川瀬 瑠美(広島大学大学院)

第6分科会（1号館 125教室）

司会：吉田 尚史（福岡女学院大学）

13：30～14：00 香港における返還後の教育改革とナショナル・アイデンティティ

中井 智香子（香港大学華正中国教育研究センター）

14：00～14：30 ナショナル・アイデンティティ醸成におけるマオリ文化の位置づけーニュージーランドの教育現場からー

大庭 由子（安田女子大学）

14：30～15：00 中国における多文化・多民族の共生について

張 鵬（早稲田大学）

---